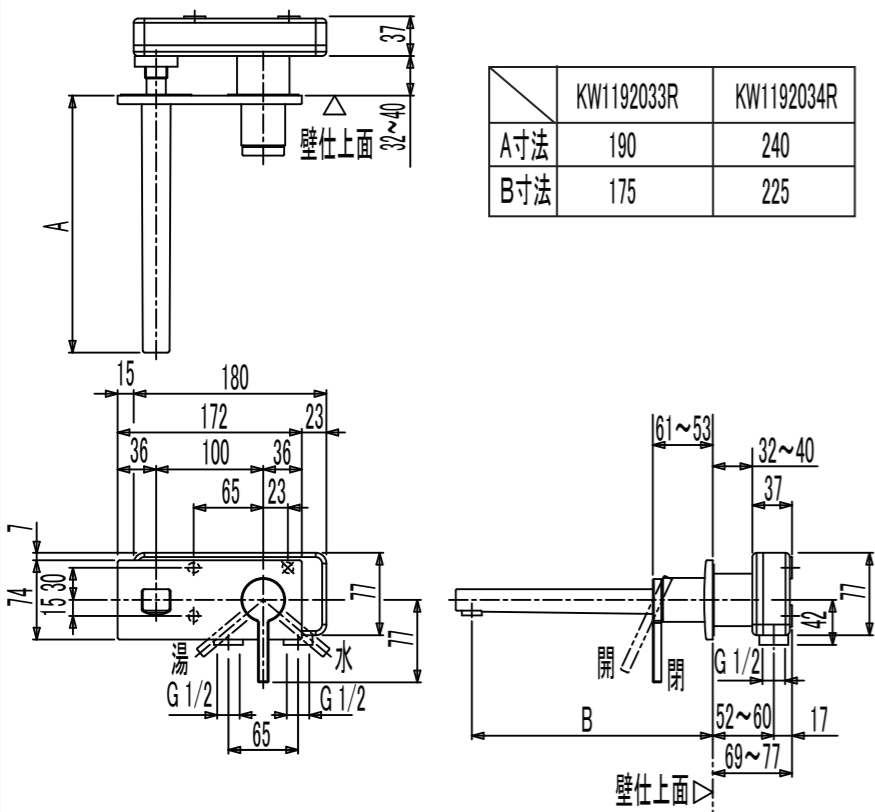


完成図

KW1192033R (カバー部) + KW9193400 (埋込部)
KW1192034R (カバー部) + KW9193400 (埋込部)



! 使用上のご注意 (取り付けの前に必ずご確認ください)
必ず実行

(1) 水栓取付前に配管内のゴミなどを取り除いて下さい。
※配管内のゴミが水栓につまると水の出が悪くなったり、水が止らなくなることがあります。

(2) 給水・給湯圧力
使用必要水圧 (流動圧) 0.1MPa
最高水圧 (静水圧) 0.6MPa

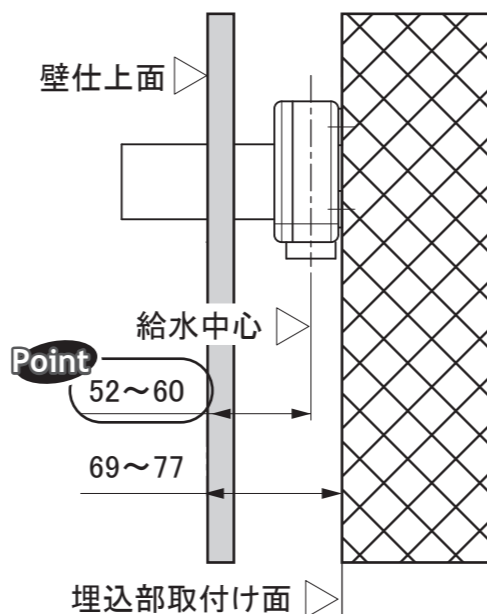
(3) 給湯温度
給湯に蒸気を使用しないでください。
給湯温度は最高80℃までとしてください。
なお安全のため60℃給湯をおすすめします。

(4) 設置条件
埋込本体の給水中心から壁仕上げ面まで52~60mmの範囲で仕上げてください。
※延長部材等のご用意はありませんのでご注意ください。

(5) 別途現場手配 ビス×3本・ワッシャ×3個
※埋込部のビス穴の寸法は9×11の長穴です。

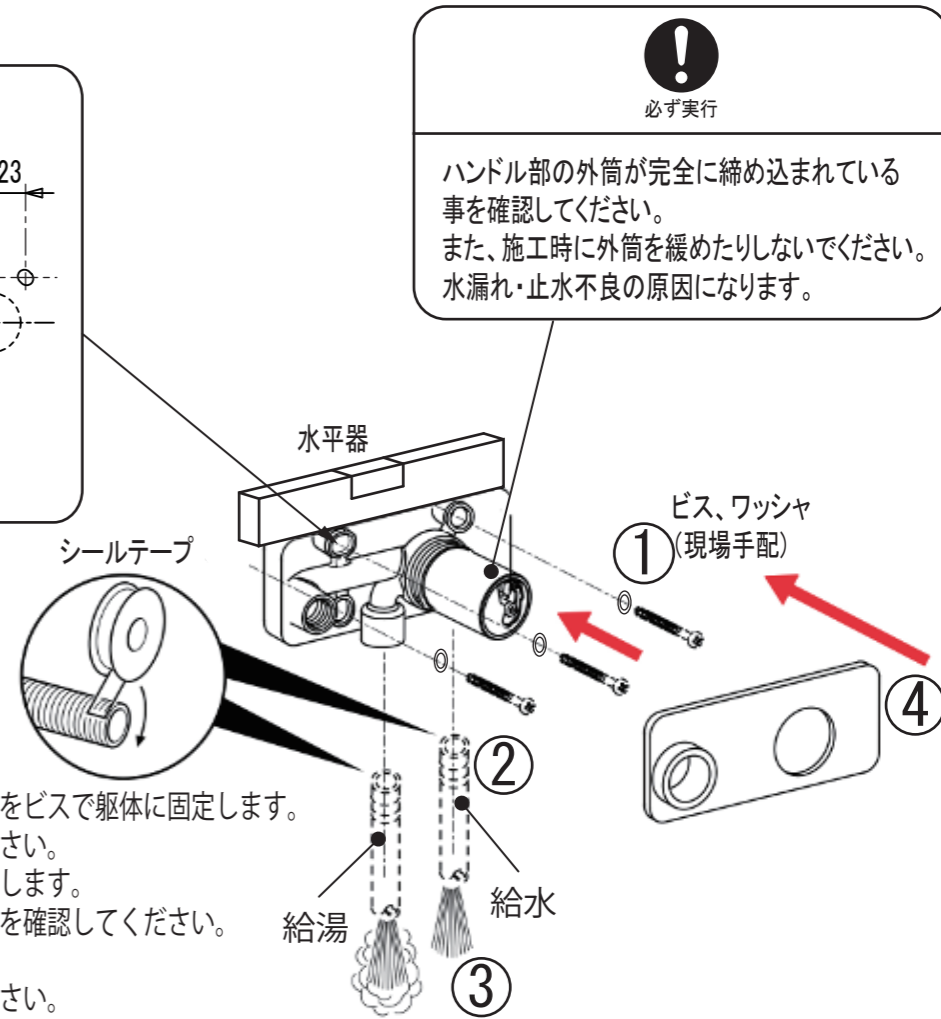
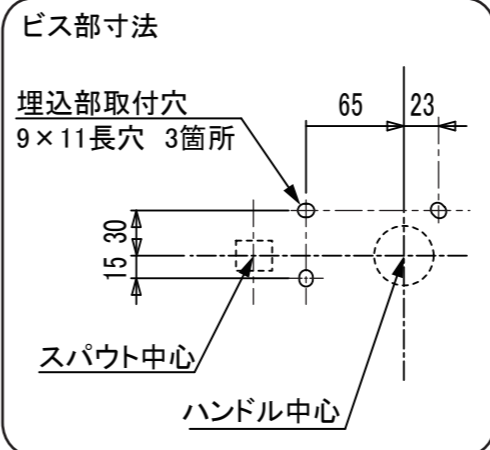
取付方法

1 <埋込部取付図>



埋込本体の給水中心から壁仕上面までは52~60mmの範囲で仕上げてください。
※範囲外になるとカバー部の取付ができなくなるおそれがあります。
また、延長部材のご用意はありませんのでご注意ください。

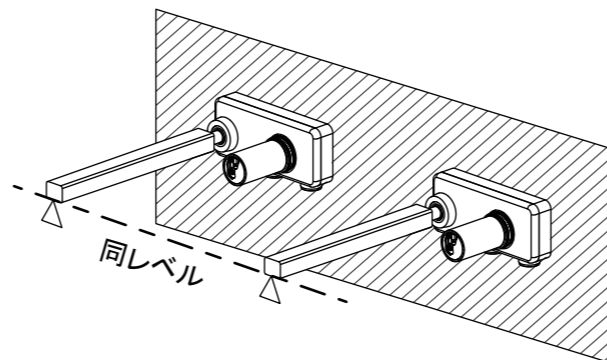
2 <埋込部取付>



① 前面側の発泡スチロールを外し埋込部をビスで躯体に固定します。
水平・垂直に注意して締め込んでください。
② シールテープを巻き給水給湯管を接続します。
③ 通水・耐圧試験を行い漏れが無いことを確認してください。
(耐圧: 1.75MPa 1分間保持)
④ 前面側の発泡スチロールを取付けてください。

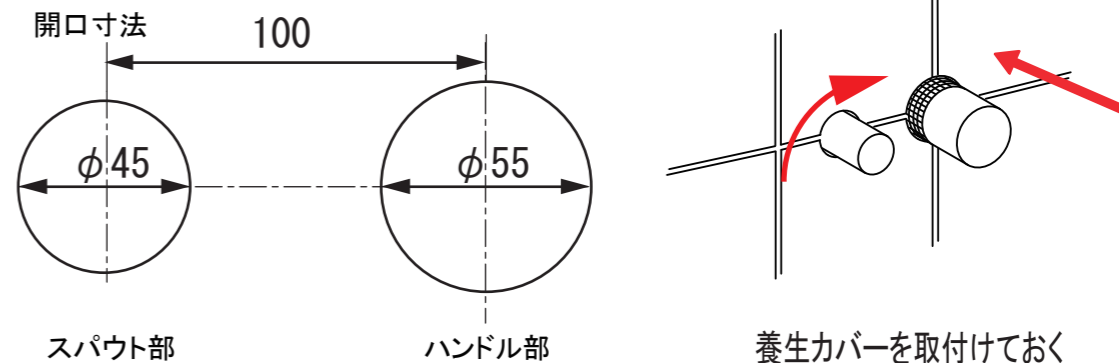
! 必ず実行
ハンドル部の外筒が完全に締め込まれている事を確認してください。
また、施工時に外筒を緩めたりしないでください。
水漏れ・止水不良の原因になります。

3 <スパウトの水平・垂直確認>



※2台並べて設置する場合はこの作業を行いスパウトのレベル合わせを行ってください。
壁を仕上げる前に⑤⑥を参考にしてスパウトを取付けてレベルの確認を行ってください。
レベルがあっていない場合は埋込部固定用ビスで調整してください。

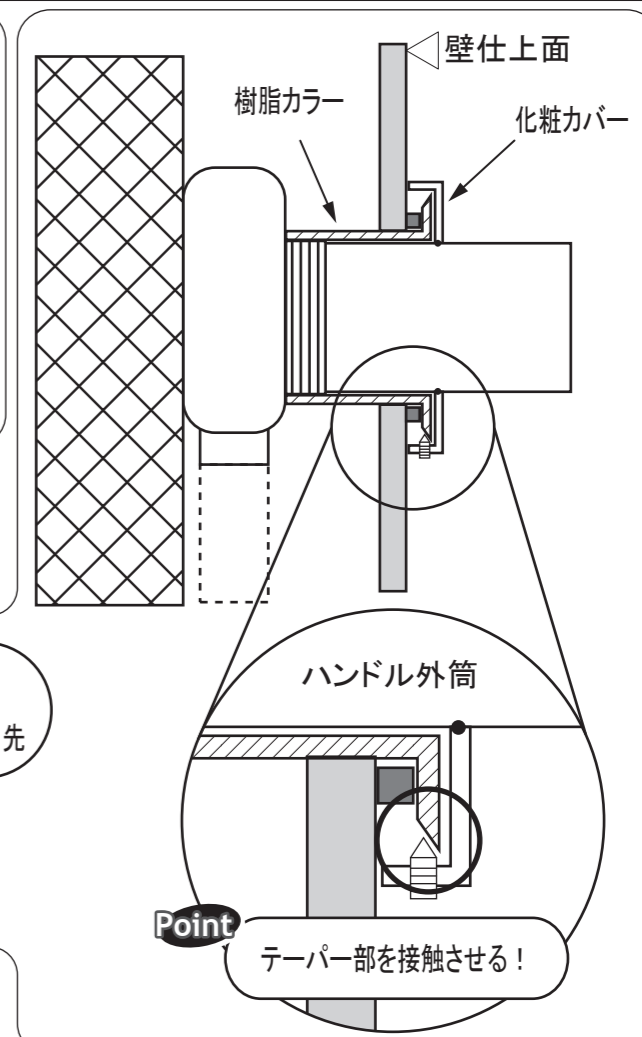
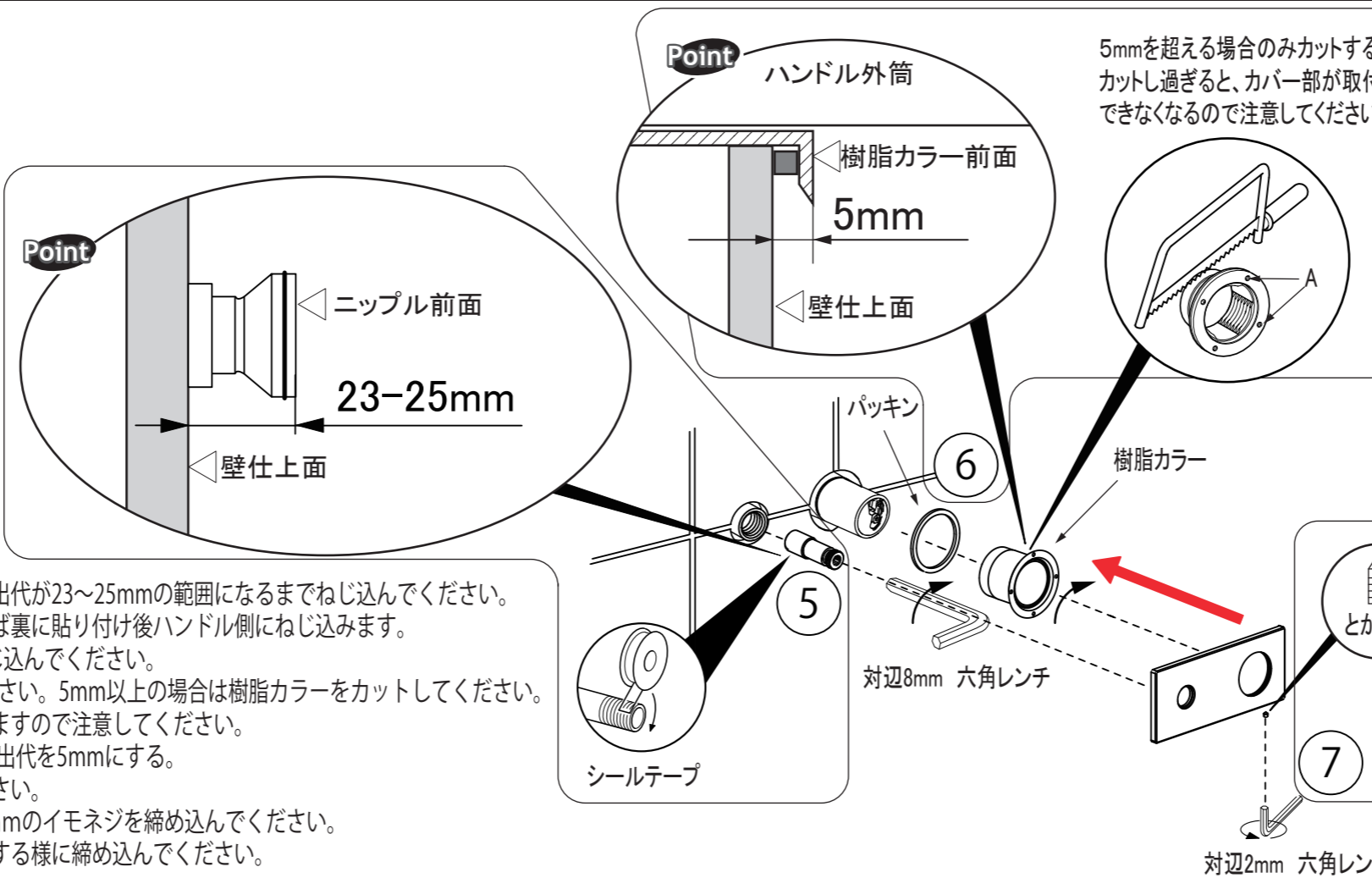
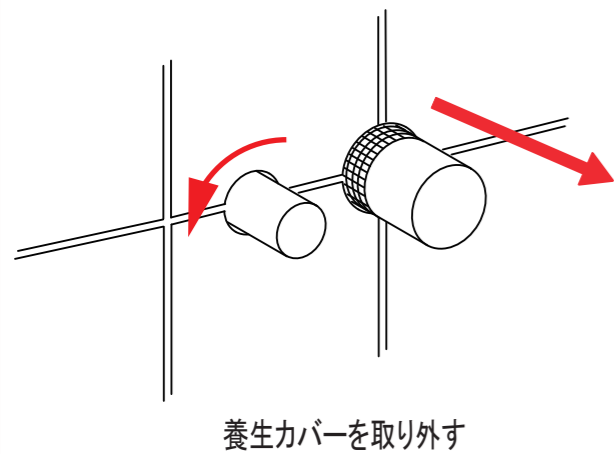
4 <壁仕上げ作業>



必ず ① <埋込部取付図>の寸法の範囲内で壁仕上面を施工してください。
開口寸法は上記を参考に開口してください。
壁仕上げ後はカバー部を取付けるまでの間、同梱の養生カバーを付けて傷やゴミが本体内部に入らないようにしてください。

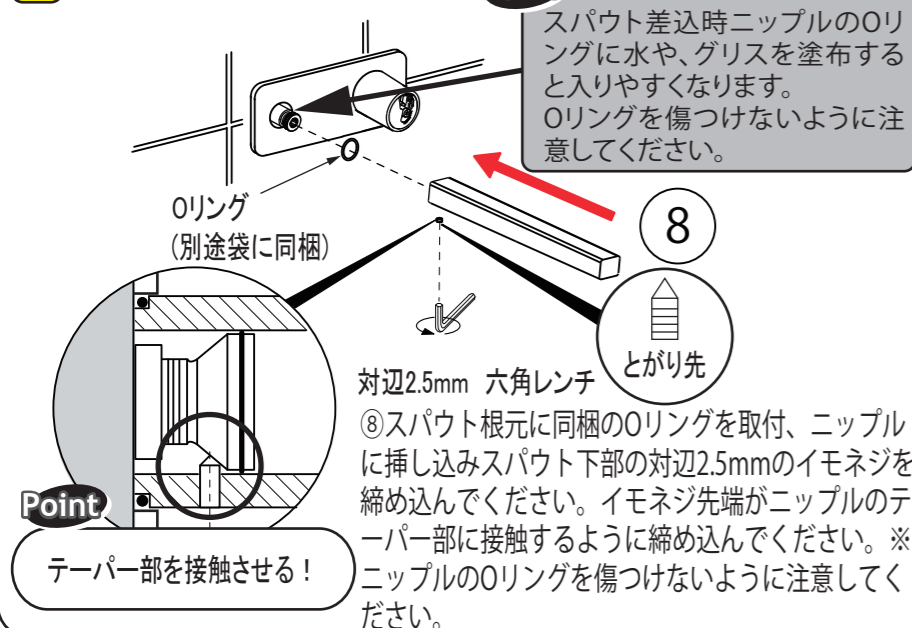
取付方法

5 <カバー部取付>

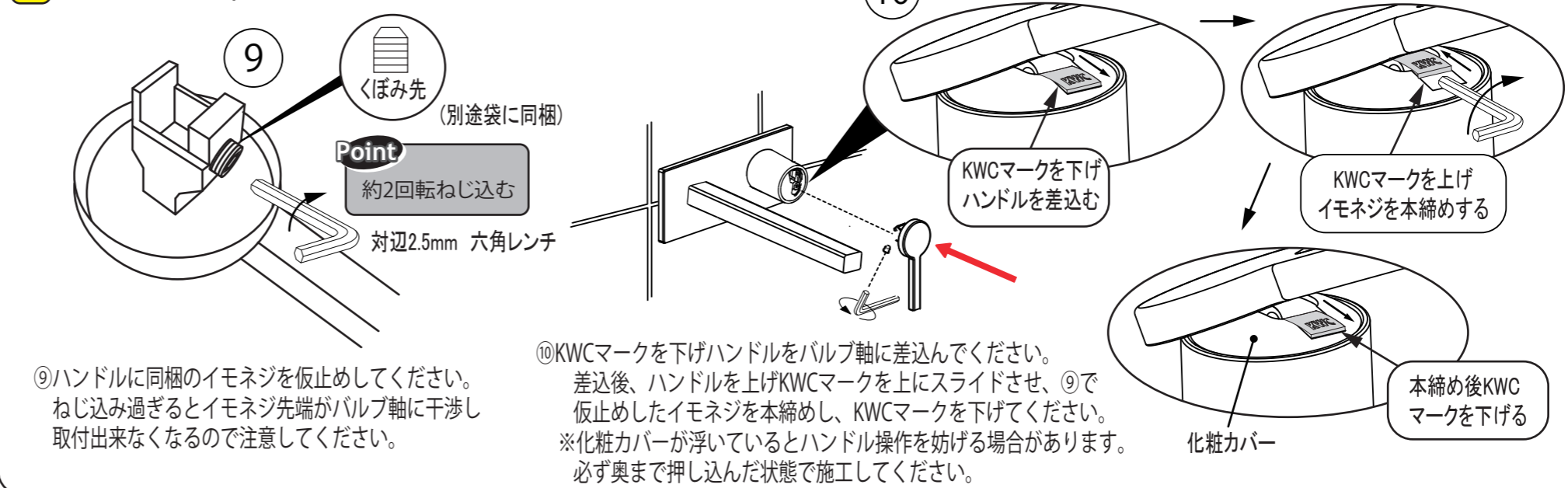


- ⑤ニップルにシールテープを巻き、壁仕上げ面からの出代が23~25mmの範囲になるまでねじ込んでください。
- ⑥樹脂カラーに付属のパッキンのシールを剥がし、つば裏に貼り付け後ハンドル側にねじ込みます。
Aの穴に先が細いラジオペンチなどを引っ掛けてねじ込んでください。
必ず壁仕上面から5mmの出代になるようにしてください。5mm以上の場合は樹脂カラーをカットしてください。
切り過ぎると埋込部のネジに届かなくなってしまいますので注意してください。
例：出代が10mmの場合は余分な5mmをカットし、出代を5mmにする。
※カット後の断面はやすりできれいに仕上げてください。
- ⑦化粧カバーを差込、ハンドル側下部にある、対辺2mmのイモネジを締め込んでください。
イモネジの先端が樹脂カラーのテーパ部に接触する様に締め込んでください。

6 <スパウト部取付>



7 <ハンドル部取付>



8 <取付後の確認> ⑪取付後ガツキや、各部から漏水などがないことを確認してください。